

私が思う平和の条件は二つあります。一つ目は言いにくいことを恐れずに言えることです。家庭内の小さなことから国際的な大きいことまで、規模に関係なく発言することは世の中をより良くしていくためにはとても大切です。しかし、ただ発言をすれば良いわけではありません。相手を思いやりながらも自分の意見、立場をはっきりさせることが必要です。話し合いをして、折衷案を見つけたり相手もしくは自分の考えを改めたりして、できるだけ良い方に近づけようとすることによって、話し合いをした人々の意識が少なからず変わると思います。そして意識が変わるといことは、物事を広く、別の視点から見つめることができるようになるので、平和を維持するために欠かせないものだと考えています。その第一歩である、発言ができる、人の話に耳を傾けられる世の中はすなわち平和であると考えました。二つ目はお互いを認め合い、許せることです。世界には、見た目も生活習慣も思想も性格も違う人がたくさんいます。自分とは違う人達を追い込んだり見下したりするから戦争やテロ、いじめなどの悲しい出来事が起こってしまうのです。お互いを認め合い、好き嫌いは別として自分と何もかも違ってても存在して良い、十人十色で良いという気持ち、できるかぎり仲良くしようとする気持ちを持つことが平和へとつながります。また、私はけんかをしたくないことが平和であるとは考えています。

平和とは何か

上宮高等学校3年

市園結梨

ん。生きていけば他人との衝突は避けられませんが、けんかというものは相手や自分の考えが違うから起こるものなので、それをしないということは、意見のすり合わせや偏った見方を直す可能性を捨てているのと同じであると考えています。平和とはけんかをしてもお互いに謝ることができて、許しあえることだと考えています。もちろん暴力やむやみに衝突するのはいけません。『雨降って地固まる』と言いますし、より相手の考えを理解するきっかけとなる場合もあるのでないでしょうか。恐ろしいのは許しあえずそのままにしておくことです。そこから相手に対する偏見が生まれてしまいます。そうなるといじわるをしたり優越感にひたるための行動を起こす可能性があります。許すとは相手を信じ、認めることです。自分が間違いを犯したならば誠実な態度を、相手が犯したならば寛容な態度をとることでその気持ちがきつと相手にも伝わって、歩みよろうとしてくれるはず。皆が皆の全てを認めあい、許し合うことができればより相手を知れ、偏見を持つことなく手を取り合うことのできる日が来ると思っています。そして、その状態が平和であると私は考えています。以上の理由から、私は言いたいことを恐れずに言えること、お互いを認めあい許せることの二つが平和だと言える条件であると思っています。